

令和7年度第1学年理科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期考査、小テスト、実験レポート
観点2	思考・判断・表現	定期考査、小テスト
観点3	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ノート、提出物

理科1：週2時間（一斉授業）（授業者：市村）

学習時期		指導	計画	評価の観点			評価	小学校の学習との関連
期	月	学習単元	学習内容	①	②	③	時期	
1	4	2.身のまわりの物質 第1章身のまわりの物質とその性質						3年 電気を通す物 6年 気体の集め方 5年 物のとけ方 4年 水の姿
	5	(1)物の調べ方	・物体、物質					
	6	(2)金属と非金属	・金属、非金属					
	7	(3)さまざまな金属の見分け方	・金属の性質	○	○	○	随時	
		(4)白い粉末の見分け方	・ガスバーナーの使い方、有機物、無機物				7月	
	2	第2章 気体の性質						
		(1)身のまわりの気体の性質						
		(2)気体の性質と集め方	・気体の性質 ・置換法					
		第3章 水溶液の性質						
		(1)物質が水にとけるようす						
	9	(2)溶解度と再結晶	・質量パーセント濃度 ・溶解度	○	○	○	随時	
		第4章 物質の姿と状態変化					9月	
2		(1)物質の状態変化	・状態変化					3年 日光の進み方・集め方 物を動かすはたらき 物の重さ
		(2)物質の状態変化と体積・質量の変化	・粒子モデル					
	10	(3)状態変化が起こるときの温度と蒸留	・蒸留、融点、沸点					
		3.身のまわりの現象						
		第1章 光の世界						
	11	(1)物の見え方	・光の直進				随時	
		(2)光の反射	・光の反射				11月	
		(3)光の屈折	・光の屈折					
		(4)レンズのはたらき	・凸レンズ					
	12	第2章 音の世界						
		(1)音の伝わり方	・音の正体					
		(2)音の性質	・音の高低、音速					
3		第3章 力の世界						
		(1)日常生活のなかの力	・身近な力					
		(2)力のはかり方	・力の単位					
	1	(3)力の表し方	・力の矢印				随時	
	2	(4)力のつり合い	・力のつり合いの条件	○	○	○	2月 3月	

学習時期		指 導	計 画	評価の観点			評価 時期	小学校の学習との関連	
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③			
1	4	単元 1 いろいろな生物とその共通点 第 1 章 生物の観察と分類のしかた（6）	第 1 節 身近な生物の観察 第 2 節 生物の特徴と分類	○	○	○	7 月	小 5 花のつくり 小 5 受粉	
	5								
	6		第 2 章 植物の分類（9）						第 1 節 身近な植物の分類
									第 2 節 果実をつくる花のつくり
									第 3 節 裸子植物と被子植物
	7								第 4 節 花をさかせず種子をつくらない植物
									第 5 節 さまざまな植物の分類
2	9	第 3 章 動物の分類（9）	第 1 節 身近な動物の分類	○	○	○	9 月	小 3 昆虫の観察	
	第 2 節 セキツイ動物								
	第 3 節 無セキツイ動物								
	第 4 節 動物の分類表の作成								
	10	単元 4 大地の変化 第 1 章 火をふく大地（6）	第 1 節 火山の姿からわかること	○	○	○	11 月	小 6 火山 小 6 火山からふき出した物 小 6 火山の噴火で起こること	
			第 2 節 火山がうみ出す物						
			第 3 節 火山の活動と火成岩						
			第 4 節 火山とともにくらす						
	11		第 1 節 地震のゆれの伝わり方						
			第 2 節 地震が起こるところ						
			第 3 節 地震に備えるために						
12	第 2 章 動き続ける大地（5）	第 1 節 地震のゆれの伝わり方							
		第 2 節 地震が起こるところ							
3	1	第 3 章 地層から読みとる台地の変化（9）	第 1 節 地層のつくりとはたらき	○	○	○	2 月	小 5 流れる水のはたらき 小 6 土地のつくり	
	第 2 節 堆積岩								
	第 3 節 地層や化石からわかること								
	第 4 節 大地の変動								
	第 5 節 身近な大地の歴史								
	2								

家庭での学習方法・学習のアドバイス

理科の授業では、実験を中心に考えることを重視しています。ご家庭では授業で行った実験の復習を教科書・ノートの確認と問題集を中心に行って下さい。授業で出題した例題などは特に自力で解けるようにしておきましょう。。

令和7年度第2学年理科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期テスト、小テスト、課題、レポート
観点2	思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、課題、レポート
観点3	主体的に学習に取り組む態度	課題、レポート、提出物、授業内課題

週4時間

担当（松田 悠）

学習時期		指導計画		観点			評価 時期 (月)	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	1	2	3		
	4	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質のなり立ち	・熱分解、水の電気分解、物質の分類 ・原子と分子と元素記号 ・化学式、化学反応式	○	○	○	4	6年 ろうそくや木などが燃える時の変化
		2章 物質どうしの化学変化	・化合、酸化と燃焼、穏やかな酸化、還元	○	○	○		5年 物が水にとけるときの重さ
	5	3章 酸素がかかわる化学変化	・化学変化と質量の関係 ・発熱反応	○	○	○	5	
		4章 化学変化と物質の質量	・吸熱反応	○	○			
	6	5章 化学変化とその利用 学習内容の整理		○	○	○	6	
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 1章 生物と細胞	・顕微鏡の使い方 ・植物、動物の細胞のつくり ・器官、組織、細胞 ・光合成に必要なもの	○	○	○		3年 昆虫と植物
		2章 植物のからだのつくりとはたらき	・植物による呼吸 ・蒸散、道管、師管	○	○			4年 人の体のつくりと運動
		3章 動物のからだのつくりとはたらき	・栄養素、消化酵素、消化と吸収 ・肺呼吸、細胞による呼吸	○	○			6年 人の体のつくりと働き
	7	4章 刺激と反応 学習内容の整理、確かめと応用	・血液とその循環、排出のしくみ ・運動器官、感覚器官 ・神経系、反射	○	○	○	7	
	9	単元4 電気の世界 1章 静電気と電流	・静電気と電気の力、放電、陰極線 ・直列回路と並列回路、オームの法則	○	○	○	9	3年 電気の通り道 磁石の性質
		2章 電流と性質	・電力と電力量、電流による発熱	○	○			4年 電気の働き 5年 電流の働き 6年 電気の利用
	10	3章 電流と磁界 学習内容の整理 確かめと応用	・電流と磁界がつくる磁界、電磁誘導 ・交流と直流	○	○	○	10	
	11			○	○	○	11	
	12	単元3 天気とその変化 1章 気象の観測	・気象要素、気温の変化	○	○		12	
	1	2章 雲のでき方と前線	・飽和水蒸気量、湿度、露点 ・雲の形と雲のでき方、雲形と降水	○	○		1	
	2	3章 大気の動きと日本の天気 学習内容の整理、確かめと応用	・気圧と風、低気圧と高気圧、気団 ・停滞前線、寒冷前線、温暖前線、閉塞前線	○	○		2	
	3		・海陸風、季節風	○	○		3	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ・習ったことを一つずつ、わかるようにするために、疑問はその日のいつに解決しましょう。
- ・覚えることが多くなってくるため、自分自身でまとめておきましょう。
- ・こまめにワークの問題を解くなど、アウトプットの機会を増やしましょう。

令和 7 年 度 第 3 学 年 理 科 年 間 指 導 計 画 ・ 評 価 計 画

	評 価 の 観 点	評 価 材 料
観点 1	知識・技能	定期考査、小テスト、実験レポート
観点 2	思考・判断・表現	定期考査、小テスト
観点 3	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ノート、レポート、提出物

理科 1：週 3 時間（一斉授業）（授業者；松浦 史也）

学習時期		指 導	計 画	評 価 の 観 点			評価	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③	時期	
1	4	単元 1 化学変化とイオン 第 1 章 水溶液とイオン 第 2 章 酸・アルカリとイオン	(1) 電解質と非電解質 (2) 原子の構造・イオンの構造 (3) 電気分解 (1) 酸・アルカリ (2) 中和と塩 (3) 酸・アルカリの濃さと中和					小 6 酸性・アルカリ性・中性
	5	第 3 章 化学変化と電池	(1) 電池とイオン (2) ダニエル電池					
	6	単元 2 生命の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖 第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子	(1) 細胞分裂と生物の成長 (2) 生物のふえ方 (1) 親の形質が子に伝わるしくみ (2) 遺伝子の本体					小 5 魚と人の誕生
		第 3 章 生物の多様性と進化	(1) 生物の歴史 (2) 水中から陸上へ (3) さまざまな進化の証拠 (4) 進化と多様性	○	○	○	7 月	
2	7	4. 地球と宇宙 第 1 章 天体の 1 日の動き	(1) 天体の動き (2) 太陽の動き					小 6 太陽と月の特徴
	9	第 2 章 天体の 1 年の動き	(3) 星の動き					小 3 太陽の 1 日の動き
	1 0	第 3 章 太陽と月	(1) 四季の星座 (2) 季節の変化					小 4 月や星の 1 日の動き
	1 1	第 4 章 太陽系と銀河系	(1) 太陽のすがた (2) 月の運動と見え方					小 6 月の形の変化
	1 2		(1) 太陽系のすがた (2) 惑星の見え方	○	○	○	12 月	小 4 いろいろな星と星座
	1	入試問題演習	(3) 銀河系と宇宙の広がり					
3	2	単元 5 地球と私たちの未来のために 第 1 章 自然のなかの生物	(1) 身近な自然環境の調査 (1) 人間による活動と自然環境					小 6 生物どうしのかかわり、生物と環境のかかわり、地球とわたしたちのかかわり
	3	第 2 章 自然環境の調査と保全	(2) 自然環境の開発と保全 (1) 自然災害とめぐみ	○	○	○	3 月	
		第 3 章 科学技術と人間						

理科 2：週 1 時間（一斉授業）（授業者；松田 悠）

学習時期		指 導	計 画	評 価 の 観 点			評価	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③	時期	
1	4	単元 3 運動とエネルギー 第 1 章 力のはたらき方	(1) 力の合成と分解 (2) 水中の物体に加わる力					
	6		(1) 等速直線運動					
	7	第 2 章 物体の運動	(2) 等加速度運動 (3) 放物運動	○	○	○	7 月	
2	9		(1) 仕事					小 6 てこの規則性
	1 0	第 3 章 仕事とエネルギー	(2) エネルギー					
	1 1		(3) 力学的エネルギーの保存					
	1 2	入試問題演習	(4) いろいろなエネルギーとその移り変わり (5) エネルギーの保存と利用の効率	○	○	○	12 月	
3	1							
	2							
	3			○	○	○	3 月	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

3 年生の理科は、中学校の理科の集大成です。1・2 年生の学習の総まとめになる内容が多く、高等学校の学習内容への関連性も高くなります。そのため、家庭学習では授業に関連する 1・2 年生の内容の復習を優先的にを行い、その上で 3 年次の学習内容をその日のうちに復習（学習内容の理解）をしましょう。また問題集の間違った問題は何度もやり直すことが実力向上の秘訣です。毎回の授業で分からない内容や問題があった場合にはすぐに質問する癖をつけましょう。